

バレーボール協会

昭和 24 年(1949 年)創立

昭和 24 年（1949 年）創立の茅ヶ崎バレーボール協会は、すでに半世紀を超えており、これまで数多くの先輩方・関係役員の皆様が協会運営にご尽力下さったことに感謝申し上げます。取り分け、協会創立期から、菊地清則（前会長）や顧問の井上寿戒、小又重良、稲岡輝雄（現体育協会会長）などを中心とした方々のご苦勞があつて、年間 20 数回の大会を開催するまでになり、更には審判講習会やバレーボール教室などを開催して底辺の拡充にも力を尽くして下さったことによって今の発展があると考えております。

しかし、近年、多様化するスポーツの中で少子化も加わり、競技人口の獲得の難しさや技術の向上など課題も沢山ある中で、バレーボール協会の発展拡充に懸命に努力しています。

また、友好団体の茅ヶ崎小学生バレーボール連盟（山本丈男会長）、茅ヶ崎家庭婦人バレーボール連盟（宍戸佐代子会長）、中体連、高体連とも緊密に連携を図りながら運営してまいりましたが、平成 20 年（2008 年）6 月に新たに茅ヶ崎ソフトバレーボール連盟が結成されたことは特筆すべき事として捉えています。

更には、近年企業経営の厳しさから実業団チームの参加が見られなくなったことは大変寂しい思いがいたしますが、6 人制の大会に茅ヶ崎徳洲会総合病院のチーム（男子・女子

とも）、茅ヶ崎リハビリテーション専門学校の女子チームの参加を得たことは嬉しい限りです。

平成に入ってから顕著な活躍としましては、個人ではビーチバレー競技において石坂有紀子（西浜中出身）がオリンピックのアトランタ大会（1996 年）、シドニー大会（2000 年）への連続出場という輝かしい活躍があります。

また、平成元年（1988 年）茅ヶ崎市総合体育館の完成した折に、中体連では毎年 1 月に茅ヶ崎マリンカップ大会を開催し、今日まで 20 回目を数えております。いまでは、県内の有力校男女 80 数校が参加する大きな大会となっています。平成 14 年（2002 年）には円蔵中学校（男子）が、平成 16 年（2004 年）には浜須賀中学校（男子）が関東大会に出場する活躍をみせるなど地区のレベルアップを図るきっかけになるなど大きな成果を上げています。

一方、高体連では、茅ヶ崎市総合体育館を主たる会場として地元の顧問の先生方がスタッフとなり“volleyball summer festival in 湘南”を毎年 8 月に開催（4 日間）し、平成 20 年（2008 年）で 19 回を迎えました。毎回延べ 70 数校の参加をいただき、市内チームのレベルアップを図っております。また、平成 7 年（1995 年）、8 年（1996 年）には県立茅ヶ崎高校（女子）が、平成 20 年（2008

年)には県立鶴嶺高校(女子)が関東大会に出場し、活躍してくれました。

家庭婦人においては、やまゆり杯・小田急旗争奪神奈川県家庭婦人バレーボール大会において嶺クラブが平成3年(1991年)度、4年(1992年)度と連続優勝を果たし、平成12年(2000年)度、平成19年(2007年)度にはミッキーマウスクラブが同大会に2度の栄冠を手に入れるなど大いに活躍しております。

さらにミッキーマウスクラブは平成19年(2007年)3月に北九州市で行われた第3回LAWSON CUP全国大会に出場するなど全国に茅ヶ崎の名を轟かせました。

平成14年(2002年)には「日本スポーツマスターズ2002」に茅ヶ崎代表チーム(女子)が出場し熱闘を展開し、全国5位の成績で大いに会場を沸かせてくれました。

本協会では、このような各友好団体の活躍を機に毎年秋に各団体の優秀チーム・個人が

一堂に会して「選抜優勝大会」を開催しております。この大会は、小・中学生・高校生・一般・家庭婦人と世代を超えてバレーボールを愛する人々が集い、輪を広げ、和を深める意義ある大会になっていると高く評価をしているところです。

こうして、本協会も平成21年(2009年)に創立60周年を迎えることとなりますが、これもひとえに数多くの先輩諸氏・役員の方々のご苦勞ご尽力の賜と感謝するところです。取り分け、平成18年(2006年)6月、35年間の長きにわたり協会長職を務めている染谷誠一郎がJVA日本バレーボール協会から感謝状を受賞されたことは茅ヶ崎バレーボール協会全体としての誇りです。

本協会も60周年を機に、茅ヶ崎市民の生涯スポーツの一つとしてさらに発展できるよう、協会役員一同気持ちを新たに、これからは鋭意努力を惜しまず協会運営に取り組んで参ります。



(協会主催事業「選抜優勝大会」)